



CONTENTS

- 社長が行く
- 商品カルテ使用状況報告
- Working!
- 編集後記～責任者交代にあたって～

社長のボヤキ ～はたらくみんなに幸福あれ～

みなさま、こんにちは！

年度末、より一層ギアをあげていかなければならない時期となりました。みなさま、体調の方はいかがでしょうか？ 優先順位としてはまず自分自身の安全（健康面・精神面）、その次に品質・効率です。これを順守しながらより一層モノづくりに励んでいきましょう。

さて、当社は今、ビジネスの視点で見ると発展の兆しが見えてきており、順調にしているような気もしています。これは一重に皆様の頑張りあっての話だと思います。ありがとうございます。

ただ、ビジネスの面だけでなく、いつも頑張っていて働く皆様自身にも「啓文社で働いてよかった。啓文社の社員として働くことが楽しい。」そう思っていたきたいなと私は思っています。どうしても重労働や残業もあるのですが、それらを乗り越え、飲み会などの仕事以外の部分では心から笑い合えるような人間関係を作りたいなと思います。

世間では、「紙製品を配る・使う事が悪いこと」のように表現されていることを度々目撃するようになりました。しかし、人々が便利さを追求する限り、どんな製品を使っ

てもそこに悪意はないはずです。紙離れが進みデジタルへシフトしている本当の理由は、人件費という「コスト」の削減にあると思います。そのことをSDGs等と紐付けることにより、見栄えを良くしながら行っていく。それが現実ではないでしょうか。

この世の中ですので、生き残っていくためのコストの見直しは必要不可欠です。現に当社でも様々なコストを見直し、新たな設備の導入を行う事で、1人当たりの生産性を大幅に上げる事に成功しています。私自身SDGsの考え方には大きく賛同していますし、会社としても世の中の流れには敏感に行動し、持続可能な社会の創造に今後も大きく貢献していきます。しかしそれが建前だけで終わってしまっただけではいけないと思います。

一人の人間として言えば、私は、自社で出来上がった製品をお客様へお届けし、満足してもらったときの表情、そしてそこで働いている皆様が切磋琢磨しながら楽しそうに働いている時の表情を見ると、何とも言えない高揚感を味わうことができます。その気持ちに正直に、まっすぐに向き合い、よい製品を安く作ることで、そしてそこで働く皆様が少しでも楽しく前向きに働くことができる職場づくりを行っていきます。

幸せの追求に終点なし！！



よりよい会社をみんなで作るために

商品カルテ 使用状況報告

今月の営業
スローガン

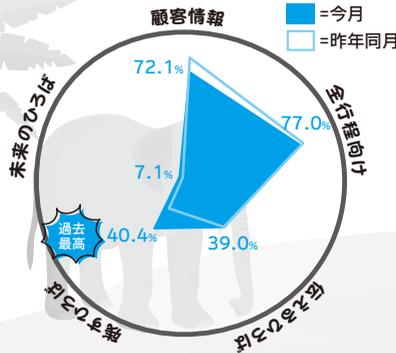
社長：一步踏み込んだ気付き・提案
村木さん：あったらいいなをカタチにする
相良さん：ベターの追求
NET通販：明確な指示と確実な実行

ひろば使用率・いいね&感謝の割合(1/31~2/24・回収183件)

総評 ★★★★★☆☆

【成果】残すひろばで過去最高となりました。過去最高の数字が出るのは昨年3月以来の約1年ぶり。まだまだ成長できるかも^^♪

【課題】顧客情報欄では新しい記述がほとんどありませんでした。感謝シールのアクティブ率もできればもう少し上げたいところです。



※各種シールがなくなった方は有働までお知らせください

いいね!した人

社長 村木 相良 上野 奥添 有働 早川 岩下 上村
有谷 森川 本越 中野 桑原 福島 河野 経理部長 松永

アクティブ率
61%

感謝!した人

社長 村木 相良 上野 奥添 有働 早川 岩下 上村
有谷 森川 本越 中野 桑原 福島 河野 経理部長 松永

アクティブ率
39%

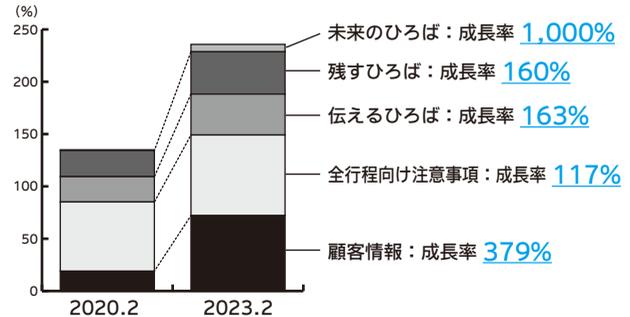
今月のPICK UP!

商品カルテだからできる!!

何度でも新しく生まれ変わる。

社内新聞の取り組みをはじめて今月でちょうど3年となりました。「意識改革」(活動方針p.19)という取り組み全体の目的のもと、毎号一貫して力を入れてきた「商品カルテ使用状況」は、結局のところどうなのか!? 3年前と比較してみました。

●2020年2月と2023年2月の「ひろば使用率」比較



結果はすべての「ひろば」で向上…というか、「向上」という表現では収まらないほどの数字を叩き出しています。ふさわしいのはまさに「イノベーション(革新)」という表現でしょうか(^^)

イノベーションで新しい行動が生まれる。その新しい行動がフレッシュでフェアな空気を育み、また次のイノベーションにつながっていく。持続可能な組織とは、イノベーションが絶えず起こり、常にフレッシュで、過去や常識にとらわれないフェアな心をもった組織のことだと思います。

人も、そして組織も、何歳になっても何度でも新しく生まれ変わる! これからも地道にがんばりましょう(^^)

ひろば実例紹介

●全行程向け注意事項・伝えるひろば

- ・追跡番号23449→23580へ変更願います(相良さん)
- ・店長がご病気の為R5.2.20をもって閉店するそうです…(社長)
- ・通し数と予備との兼ね合いで、A版半裁での印刷とのことです(有働)
- ・今回値上げ@98→@122(上村さん)
- ・軽く丸めて筒状包装(曲がらないように!20枚がキツければ10枚でもOKです)(村木さん)
- ・印刷・表面加工後の原紙1枚をお客様へ発送(上村さん)
- ・今回は“チャレンジ”なしの通常仕様(相良さん)
- ・厳重極秘印刷物となります!仕上りを含めご注意ください!(村木さん)
- ・広告が色上のため、合紙入れていません(早川さん)
- ・かなり神経質で、念入りな注文プロセスにて受注(村木さん)
- ・イメージカラーはグリーン系(相良さん)
- ・抜きの一部を折り返し貼り付けます!よって、すっぽりとは抜かない!(村木さん)
- ・少し足りなかったとのことで、追加増し刷り(ハナコ)(村木さん)
- ・切りっ子の際、〇〇様のみマーク補正0.3mm→0.6mmへ変更(早川さん)
- ・紐取り付け注意!デザインと繋がるようお願いいたします(上村さん)
- ・チェック柄マニア♥(村木さん)
- ・残りが発生したら即処分せずに3月末まで保管してください(相良さん)

●残すひろば

- ・印刷:両面ともドライヤー使用(有谷さん)
- ・仕上:定期物件ファイル9・ラベルシール有(中野さん)
- ・印刷:表面ベタ、インクを増やしてバランスを取る(有谷さん)
- ・仕上:125枚/箱(ネット用段ボール)(福島さん)
- ・仕上:160×252のボール紙で上下あて紙をして包装する(中野さん)
- ・営業:外注費UPに合わせて今回値上げ@10.4→@11.4へ(相良さん)

●未来のひろば

- ・相良さんへ:(伝えるひろばへの以前の書き込みに関して)全て削除お願いいたします(早川さん)
- ・村木さんへ:ハナコでの仕上げのため、加工・仕上の訂正よろしくをお願いいたします(早川さん)

Working!

vol.27

～時代と海を越えた普通の人々からの手紙～

翻訳:有働

EDDIE JAFFE | 広報マン

“広報係”になって42年。芸人、歌手、ストリッパー、企業や政府などのPRに尽力してきた。

落ち着かないですね。58歳にもなって、「広報とは何をするんですか?」なんて聞かれたら。これまでの人生をいかに無駄にしてきたか、無理やり向き合わされているようです。広報とは何か?私は何にかかざらってきたのか?その答えは、「何部屋分もある新聞の切り抜き」でしょうかね。

広報としてお金をどのくらい稼げるかだけが問題なんです。世論という法廷でクライアントのことを擁護する人、みたいに言われることもあります。そんな深い仕事ではありません。

精神分析療法に通い始めるまでは、全然稼げませんでした。先生は、私が稼げない理由を深く掘り下げてくれました。広報マンであるということは、つまり自分の弱さをさらけ出しているようなものです。自分のことをアピールする度胸がないから、その代わりに他人について宣伝しているのです。この仕事は、自分以外の人がいかにすばらしいか、それを伝えるのに一生を捧げる仕事なんです。本当につらい仕事ですよ。

いま、メディアは新聞や雑誌からテレビへと移行しています。テレビが広報マンの仕事を奪っていています。自分がやっていることに関して、もう昔のように手応えが感じられなくなりました。



編集後記

～社内新聞責任者交代にあたって～

3月で私が社員を卒業するのにもとない、来月より新たに上野さんに責任者および編集・制作を引き継いでいただくことになりました！自ら志願して始め、愛情を注いだこの取り組みを、自分がいなくなった後も引き継いでくださる方がいて本当にうれしく思います。みなさんも、新たな紙面をぜひ楽しみにお待ちくださいね(^^)

カオス新聞創刊からちょうど3年間、毎月の新聞づくりは、最初から最後まで1ミリの苦労も感じずとてもたのしい時間でした。みなさんに原稿を依頼するときも、いつも快く協力していただき、ありがたい気持ちでいっぱいでした。改めて感謝申し上げます。

組織にも社会にも「文化」という“余白”が必要不可欠だと思います。「こうしたほうが賢いよ」「そんなことしても儲からないよ」「やらないほうが楽だよ」。そんなやり取りだけの組織や社会で深呼吸することはできません。

日々「ひろば」に書き込まれたメッセージが届く。そして毎月「てがみ」が届く。これが啓文社の「文化(カルチャー)」です。これからも「カルてがみ」をよろしくお願いいたします♪



社内新聞責任者
有働 牧子



社長への手紙

社長はみなさんの意見や指摘、提案等を歓迎します。伝えたいことがある方はこの手紙に書いて渡しましょう。